

11/15
SAT.

## 第75回教育研究発表会

~9つの資質・能力の発揮と探究的な学び~



金沢大学學校教育學類附属小学校

## 申込方法

教育研究発表会 申込みフォーム よりお申込みください。



当日受付も行いますが、受付が混み合うことも予想されます。 事前申し込みをおすすめいたします。



お申込みフォーム

申込締切

11月15日(土)

9:00

### アクセス

#### ▶路線バス(北陸鉄道)

金沢駅東口10番乗り場より、

路線番号20番(金大附属学校自衛隊前)、21番、22番、25番乗車。 「金大附属学校自衛隊前」下車、徒歩2分。

#### ▶自家用車

北陸自動車道<金沢森本インター>出口直結の「山側環状道路」を金沢・小松方面に<野田町西>交差点まで進み、右折します。次の交差点<野田町>を左折すると、進行方向左側に本校正門が見えます。駐車場は、本校運動場をお使いください。

#### ▶タクシー

金沢駅から・・・約20分 片町から・・・約10分





### 問い合わせ

〒921-8105 金沢市平和町 1-1-15 金沢大学附属小学校

TEL 076-226-2111 FAX 076-226-2112

http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/fusho/

担当:森田 圭一(副校長)

※最新情報は、本校ホームページをご覧ください。

※児童の個人名がわかる掲示物の撮影・録音は、

すべてお断りしております。ご協力をお願い致します。

本校ホームページ



## かしわっ子につけたい

## 9 つの資質・能力

本校では、様々な変化が予想される未来を見据え、2050年を生き抜くために必要な能力等を備えた人材(=子ども)を育成していきます。そのためには、新しい未来を牽引するために必要な資質・能力を明らかにし、各教科等においてそれらを意識的に育成していく必要があると考えました。

そこで、社会背景や学校教育目標をもとに、「かしわっ子につけたい9つの資質・能力」を整理しました。これら9つの資質・能力を、各教科等を通して子どもに身に付けさせていくことが「新しい未来を牽引する子」の育成につながると考えています。

1く力

情報を収集・ 整理・分析する力

課題を

発見する力

伝える力

調整力

評価する力

好奇心

挑戦心

向上心



## プログラム

8:30

受付開始

 $9:00 \sim 9:20$ 

全体会 (20分)

 $9:30 \sim 10:15$ 

公開授業① (45分)

 $10:30 \sim 11:15$ 

公開授業② (45分)

 $11:30 \sim 12:30$ 

学年分科会 (60分)



## 公開授業《



101 図工 (図工室)

いっぱい つかって なにしよう 中川 佑紀

202 算 数 九九をつくろう

藤原 由依

303 総合 プログラミングで Makeスマイル | 天池 裕聖

402 社会 自然災害からくらしを守る 辻 崇太朗

502 総合

石川の観光について考える 吉木 寿充

603 外国語 小学校生活の思い出 乗富 智子



## 公開授業(2) ▶ 10:30 **~** 11:15

102 生 活 たのしいあきいっぱい

沖田 美優

203 道徳 「わすれられないえがお」 A善悪の判断、自律、自由と責任 余川 紀子

302 国語 伝えたい!民話のおもしろさを 「民話おもしろかっタワー」で紹介しよう 谷 絵里子

複 式 総合 海外の人に金沢の冬の魅力を広めよう 豆野 元春

501 理 科 (理科室)

物のとけ方

木村 元威

601 総合 尾張町商店街のnice guy 宮野 広光



学年	会場	共 同 研 究 者
1年	101	金沢大学 鷲山 靖 教授(図画工作科)
		金沢大学 滝口 圭子 教授(生活科)
2年	202	金沢大学 伊藤 伸也 准教授(算数科)
3年	301	金沢大学 新村 裕二 特任教授(国語科)
4年	401	金沢大学 石黒 盛久 教授(社会科)
5年	502	金沢大学 辻井 宏之 教授(理科)
6年	6 Ø 1	金沢大学 滝沢 雄一 教授(英語科)



#### 私たちの取組み

# PROJECT - ES

## 学校教育における新たな価値創造

## 新たなモデル構築

金沢大学附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校 の5校園では、来るべき Society5.0 を豊かに生きる資質・能 力の育成を目的に、令和4年4月より附属学校園将来構想〈金沢 モデル〉= PROJECT HESO(プロジェクト・ヘソ)を実施。 子ども達が自ら発見し、感じた実社会の課題に対し、さまざま なパートナー (地域人材・行政機関・一般企業・大学研究室など) の協力を得ながら、解決へのロードマップを子ども自身が模索し ます。

## 詳細はこちらから









